

住みよいまち、新津への提言

中新田 拝野吉郎 (農業)



越後平野のまつた中に位置し、東西に流れる阿賀野川と信濃川、背後には松の緑濃い秋葉山がそびえ、広い豊かな耕地をもち、いま新潟のベッドタウンとして、日夜発展、躍進をつづけているまち、新津、これが私の郷土である。人口も既に六万人を超えて、県下有数のまちとなった。市制施行二十五周年を記念して、市民憲章もできた。『未来の新津』論文に応募し、私の考えを述べてみたい。

住みよいまち、村、これは万人が一致して望む郷土の姿であろう。いくら地元で産業が発達したり、山紫水明の地ではあっても、住民が公害に泣いたり、生活に不便で人口が減少するようでは、住みよいまちとはいえないであろう。では、住みよいまちや村とは、いったいどのようなものであるのか。そして、新津市はどのようなにしたらよいであろうか。私なりに次の四つをあげてみた。

一、市の行政にたずさわる人達が、立派な人物であること。古今東西の歴史をみると、発展、躍進を遂げた国には、必ず立派な人物、代表が存在していた。市町村の場合として、発展し、進歩するまちには、立派な代表が必要である。これらの人たちが、身辺をとかくいいわたり、その椅子をめぐって、みにくい争いを行うようであってはならないと思う。まちの名譽をそぐない、市民の誇りを傷つけるだけでなく、まちの発展、住民の和、青少年の教育にまで、大きな影響を及ぼすからである。立派な代表が存在するということは、市民の幸福であるばかりでなく、発展するまちの基本でもあると思う。

二、税金や諸種料金が安くないこと。私たちが、日常生活をおくるには、さまざまな税金や料金を支払わねばならない。国税は別として、市町村税のほかでも、市民税、固定資産税、国民健康保険料などは金額も大きい。水道料などもある。『苛政は虎よりも猛なり』とは、中国の古い言葉であるが、税金が高いのは、虎よりもこわかったのである。過去、国民が悪政に苦しめられたのも、そのほとんどが、高い税(年貢)と、多くの賦役であった。現在では法律もできていて、最高税率もきめられているというが、行政のやり方によって増減できるものは、できるだけ市民の負担を少なくするよう努力すべきであろう。

三、産業活動が行いやすいこと。まちが発展し、躍進するには、各産業が活発でなければならぬ。市の行政がよく、産業がやりやすいということ、は、発展し、栄えるということである。豊かなまち、新津を築くためには、産業の振興が不可欠であろう。以前、各地で工場誘致の気運が盛り上がり、条例まで設けてこれにしのぎを削った時代もあったが、公害が出るに及んで、これも色あせたものになった。工場誘致も必要であるが、既存産業の育成、強化がより大切なのではないだろうか。

四、福祉、文化が充実していること。産業界の振興とともに、充実が望まれているのがこれである。幸いに、福祉の面では、老人医療無料化、老人福祉センターの建設など、他市町村に先がけて実施された。道路、上下水道等、建設工事も着実に進んでいるが、文化の面では、文化不毛の地といわれるところ、これまでも新津市には、文化面でみるべきものは、ほとんどなかった。近年、これについてようやく認識され、保存会がつけられたり、市展も開催された。以前、市の消防大会には、中央から音楽隊を招聘して、団員や市民に演奏を聞かせ、士気の鼓舞、教養の涵養につとめていた。それが自衛隊のものとなり、最近では聞くこともできなくなった。これについて、市の消防団首脳部の

適切な都市と姉妹都市を結ぶことができないであろうか。これを通じて、人材の交流をはかり、市の農業発展に役立てるべきである。

(ウ)「新津の農業を考える会」の創設

新津市農業をどのようにしたらよいか、これを考え、討議する会が必要である。これには、学識経験者や専門家のみでなく、青少年を多く加えて、創造力豊かな会にするべきである。

(エ)資料館の建設

戦後の農業の進歩は著しい。かつての農作業の姿、農具、農機具は、いま急速に姿を消しつつある。そこで、これらの記録、農具等を蒐集・保存し、後世に伝えることは大切なことだと思ふ。

農業と並んで、教育の振興も大切である。新津市は、人口こそ六万人を超える大きなまちであるが、中等、高等教育の場となると貧弱である。例を高校数でみても、新発田、五校、三条、四校、人口の少ない巻、加茂でさえも四校、三校が設置されている。まちの発展には、市民の知的向上が必要である。「蛙の子」といわれた村上藩の子弟は、三面川で穫れた蛙の収益金を、子弟の教育に当てたものであると言ふし、長岡には「米百俵」の記念碑が建てら

れている。これら先覚者の、教育にかけた情熱を見習うべきだと私は思う。戦後、男女共学が実施され、新津高校がその門戸を開くまで、私たちは男子生徒が中等教育をうけるためには、近隣のまちまで通わねばならなかったのである。現在、高校誘致運動が進められているが、市民一体となって、強力に推進すべきであろう。

四、福祉、文化が充実していること。

産業界の振興とともに、充実が望まれているのがこれである。幸いに、福祉の面では、老人医療無料化、老人福祉センターの建設など、他市町村に先がけて実施された。道路、上下水道等、建設工事も着実に進んでいるが、文化の面では、文化不毛の地といわれるところ、これまでも新津市には、文化面でみるべきものは、ほとんどなかった。近年、これについてようやく認識され、保存会がつけられたり、市展も開催された。以前、市の消防大会には、中央から音楽隊を招聘して、団員や市民に演奏を聞かせ、士気の鼓舞、教養の涵養につとめていた。それが自衛隊のものとなり、最近では聞くこともできなくなった。これについて、市の消防団首脳部の

方に進言し、復活を要請したことがある。新津市では、優れた生の演奏を聞くことができないのである。

今春、長野旅行をし、小諸で半日遊んだ。古城の跡が公園になっており、市民の憩の場となっていたが、そこに立派な文化施設が整っていたのにおどろいた。まちの産んだ洋画家の美術館、火山博物館、島崎藤村の記念館、小諸藩時代の武具や、諸記録を残した考古館などである。人口に少ない新津市よりはるかに少ないこのまちの、文化面の充実をうらやましく思ったのである。

私たちのまちにも、秋葉山という景勝に恵まれた素晴らしい公園がある。ここに、文化の香り高い施設を造つたらどうだろうか。

私の母校、阿賀小学校は、北越雪隠と並んで越後の名著名者、坂口五郎氏の旧宅跡である。夏休みの時など、学究の人がその遺墨等をみにくるのであるが、ほとんど残っていない。そこで昨年、PTAで予算を計上し、この書籍を購入した。史跡としても価値あるものと思うのであるが、市民でも知る人は少ないであろう。文化面のおくれた一例である。

市展の充実を強く望むが、

限られた期間内の展示では惜しい気もある。会議等、記念公会堂、青年研修所へ出かけるのであるが、建物の中に潤いがない。優秀な作品は年中展示しておいて、多くの市民に鑑賞してもらったらどうだろうか。

以上、大綱について述べてみたが、専門でないので、商業、観光、スポーツ等については書いていない。しかし、産業が活発になれば、おのずから商店もにぎわうであろう。各商店も、新潟などに客足をうばわれることのないように、魅力ある商店街づくりに努力すべきである。

越後の風土、田園都市、そして関係機関、各団体の協力で、新津市は勢力のない、明るいまちである。市民が一層協力しあって、これは守らなければならぬと思ふ。

青少年の躍動の場として、スポーツが盛んである。新津中学校時代のバスケット、国体の軟式野球は、全国制覇の輝かしい実績をもっている。市民がおたがいに協力し合い、努力し合ってゆけば、明るい、豊かな、住みよいまちが実現するのである。

明るい、豊かな、住みよいまち、新津。私の描く新津市の未来像である。

お買物、ご用命は市内で

お買物、ご用命は市内で

御婚礼写真

文部省認可・日本写真文化協会・A級認定写真師
写真のことならスタジオサカヅメにおまかせ下さい

スタジオサカヅメ
新津市本町4丁目5-6 TEL(代)2-0045

冬冬冬冬冬冬.....

あなたのおしゃれの演出は
きむら洋装店で



(有) きむら洋装店

本町3 TEL 2-1495

コンコルドとは調和の意味です

一年間洋酒にフルーツと木の実を漬けてケーキに入れて焼きました=

ケーキとコーヒーの店

にいつ **オサカヤ**

本町2 TEL (2) 0112

世界の紅茶
トワイニングを
お使い下さい